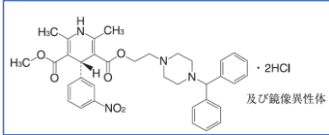


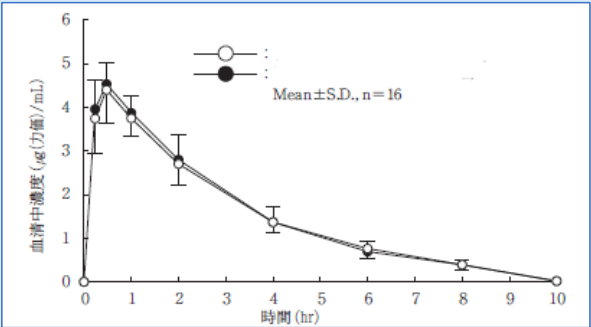
1. 実施済みの試験結果

【構造式又は本質等】



1) 非臨床試験（薬効薬理、毒性、安全性薬理、薬物代謝）結果サマリー

過去に実施された非臨床試験について、非臨床試験報告書等をもとに以下のサマリーを記載ください。

試験番号	試験名	結果要約
DE1232	xxx のカニクイザルを用いた単回静脈内投与 PK 試験	【実施基準】 ☐ GLP / ☒ 信頼性基準 / ☐ その他 【動物種等】 カニクイザル 【被験物質】 原薬フリー体 【投与経路】 静脈内投与 【被験物質の用量】 1mg/kg 【試験時期】 2012年4月～2012年6月 【試験結果要約】 雄性カニクイザルに x mg/kg の用量で単回静脈内投与し、投与後 ○、○ 及び○○ 分、□、△、■及び 24 時間に採血を行って血漿を採取した。投与の結果、いずれの動物にも毒性所見は認められず、採血操作は正常に完了した。Cmax は ○ μg/mL、半減期 T1/2 は○時間であった。  【次ステップへの移行（試験継続）を可と判断した根拠】 薬効薬理試験に用いた用量の単回投与試験において、薬効発現を期待できる血中濃度の持続性が認められており、次ステップへの移行は可能と判断した

コメントの追加 [A1]: GLP や信頼性基準外で実施した場合は「□その他」を選択ください

コメントの追加 [A2]: 試験報告書のサマリーをそのまま写してください。

コメントの追加 [A3]: 必要に応じ図表等を示してください。

コメントの追加 [A4]: 試験結果から次ステップへの移行が可能と判断した根拠や、仮に懸念点がある場合はどのような対応をとることで可能と判断したか等を記載ください。

B150979	14C 標識 xx の In Vitro 代謝予備試験（予備）	【実施基準】 ☐ GLP／☒ 信頼性基準／☐ その他 【動物種等】 ラット、サル、イヌ、ヒト 【被験物質】 原薬フリー体 【投与経路】 in vitro試験 【被験物質の用量】 5 μmol/kg 【試験時期】 2015年6月～2015年8月 【試験結果要約】 [14C]xxの肝ミクロソームによる代謝には種差が認められた。また、ラットにおいては性差が認められた。ラジオクロマトグラム上には全部で10 種類のピーク（M-1～M-10）が認められた。これらのうち、M-6 は未変化体に相当した。 <table><thead><tr><th></th><th>M1</th><th>M2</th><th>M3</th><th>M4</th><th>M5</th><th>M6</th><th>M7</th><th>M8</th><th>M9</th><th>M10</th></tr></thead><tbody><tr><td>ラット</td><td>0</td><td>－</td><td>－</td><td>0</td><td>－</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0 42.3%</td><td>0</td></tr><tr><td>サル</td><td>0</td><td>－</td><td>0</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0 43.5%</td><td>－</td></tr><tr><td>イヌ</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>0</td><td>0</td><td>0 72.2%</td><td>0</td><td>－</td></tr><tr><td>ヒト</td><td>0</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>0</td><td>0</td><td>0 27.1%</td><td>0</td><td>－</td></tr></tbody></table> 【次ステップへの移行（試験継続）を可と判断した根拠】 動物種による種差が認められたが、ヒト特有の代謝物は認められておらず、ラット、サルを用いた非臨床評価は可能で、次ステップへの移行は可能と判断した		M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	ラット	0	－	－	0	－	0	0	0	0 42.3%	0	サル	0	－	0		0	0	0	0	0 43.5%	－	イヌ	－	－	－	－	－	0	0	0 72.2%	0	－	ヒト	0	－	－	－	－	0	0	0 27.1%	0	－
	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10																																															
ラット	0	－	－	0	－	0	0	0	0 42.3%	0																																															
サル	0	－	0		0	0	0	0	0 43.5%	－																																															
イヌ	－	－	－	－	－	0	0	0 72.2%	0	－																																															
ヒト	0	－	－	－	－	0	0	0 27.1%	0	－																																															
		【実施基準】 ☐ GLP／☐ 信頼性基準／☐ その他 【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質】 xxxxxxxx 【投与経路】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxx年xx月～xxxx年xx月 【試験結果要約】 xxxxxxxx																																																							
		【実施基準】 ☐ GLP／☐ 信頼性基準／☐ その他 【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質】 xxxxxxxx 【投与経路】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxx年xx月～xxxx年xx月 【試験結果要約】 xxxxxxxx																																																							

2) 臨床試験結果サマリー

実施された臨床試験について、試験報告書等をもとに以下のサマリーを記載ください。

試験番号	試験名	結果要約
CT1224	NIH-321 治療歴を有する〇〇〇患者を対象とした AMED-123 反復経口投与の安全性および有効性に関する Ph1/2 試験	【実施基準】 ☒ GCP / ☐ 倫理指針 / ☐ その他 【開発相】 Ph1/2 【試験デザイン】 非無作為化、非盲検、単群、用量漸増 (Ph1 部分) 【試験時期】 2014年3月～2016年2月 【症例数】 10例&30例 【実施国】 ☐ 国際共同治験 / ☒ 国内治験 【施設数】 1施設 【用法・用量】 AMED-123を1日1回朝食後投与 第1相部分： 第1コホート：5mgから開始しDLTが観察された例数によりコホート毎に5mg増量。第2コホート（10mg）でDLTが1/3以上の症例が認められた場合、第3コホート（7.5mg）に移行する。DLTが観察された場合はその症例の投与を中止する。第1サイクルの投与が終了した場合、症例毎に第2サイクルから第2相部分に移行する 第2相部分： 第1相部分からの移行例の第2サイクルの開始用量は各コホートの第1相部分と同量とする。投与中止基準に該当するまで投与を継続する。 【試験目的】 NIH-321治療歴を有する希少難治性〇〇〇患者に対し、AMED-123を反復経口投与した際の安全性及び忍容性から最大耐容量を確認し、第2相部分の臨床推奨用量を決定する 【主な選択基準】 希少難治性〇〇〇病と診断され、NIH-123の治療歴を有する年齢20歳以上60歳以下の患者 【主な除外基準】 AMED-123投与時点で希少難治性〇〇〇病に関する☆☆☆療法や他の同系統薬剤の終了から4週間のウォッシュアウトが確保できない患者 【症例数の設定根拠】 ●●●についてxx%と過程し、AMED-123が△△△するデザインとした場合、検出力80%として、◎◎◎の方法を用いて必要解析対象数を求めると★★★例となる。 【エンドポイント】 第1相部分：有害事象、薬物動態パラメーター 第2相部分：診断基準△△△（2016年度版）における4週時点での□□□の改善率及び24週時点での効果継続症例の割合 【統計手法】 第1相部分：DLT評価対象集団を定義し、その集団のDLT発現頻度を評価、AMED-123の薬物動態パラメーターを算出、安全性主要解析対象集団をITT集団とし、有害事象、臨床検査値、バイタルサイン及び12誘導心電図、心エコー結果について解析した。 第2相部分：有効性の主要解析対象集団をITT集団とし、診断基準△△△(2016年度版)における評価は中央判定委員会による判定を用いた。安全性主要解析対象集団をITT集団とし、有害事象、臨床検査値、バイタルサイン及び12誘導心電図、心エコー結果について解析した。 【試験結果要約】

[illegible]

[illegible]

2. 実施予定の試験計画

1) 非臨床試験計画の概要

試験番号	試験名	結果要約		
		【実施基準】 ☐ GLP / ☐ 信頼性基準 / ☐ その他 【投与経路】 xxxxxxxx 【試験計画要約】 xxxxxxxx 【想定する試験結果】 xxxxxxxx	【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx	【被験物質】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxxx年xx月～xxxx年xx月
		【実施基準】 ☐ GLP / ☐ 信頼性基準 / ☐ その他 【投与経路】 xxxxxxxx 【試験計画要約】 xxxxxxxx 【想定する試験結果】 xxxxxxxx	【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx	【被験物質】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxxx年xx月～xxxx年xx月
		【実施基準】 ☐ GLP / ☐ 信頼性基準 / ☐ その他 【投与経路】 xxxxxxxx 【試験計画要約】 xxxxxxxx 【想定する試験結果】 xxxxxxxx	【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx	【被験物質】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxxx年xx月～xxxx年xx月
		【実施基準】 ☐ GLP / ☐ 信頼性基準 / ☐ その他 【投与経路】 xxxxxxxx 【試験計画要約】 xxxxxxxx 【想定する試験結果】 xxxxxxxx	【動物種等】 xxxxxxxx 【被験物質の用量】 xxxxxxxx	【被験物質】 xxxxxxxx 【試験時期】 xxxx年xx月～xxxx年xx月

2) 臨床試験計画の概要

[illegible]

機密性 2 情報
研究開発提案書_別紙